

◇自己紹介

はじめまして。私は関西福祉科学大学大学院 社会福祉学研究科の心理臨床学専攻修士課程2年に在籍している竹田 陽子と申します。

私は助産師として働いてきた中で、大切なお子さまとの死別という非常に辛いご経験に対し、ご家族にどのような心理的サポートをしていけばよいのかという日々の切実な思いから現在大学院で心理臨床学を学んでいます。

お子さまを亡くされたご家族がその経験をどのような思いで抱えておられるのか、またその出来事に向き合う作業において必要なものは何であったのかを研究し、同じような体験をされたご家族の支援に役立てていきたいと考えております。

調査結果がまとまりましたら、ポコズママの会のホームページを通じまして、皆さまにご報告させていただく所存でございます。研究の趣旨をご理解の上、研究にご参加いただける方を募集しております。

◇研究テーマ

「大切な方を亡くされたご家族の支援に関する研究（仮）」

◇研究目的

お子さまを亡くされたご家族の経験について科学的・系統的にされた、そのような研究は未だ少ない状況にあります。そのため、ご家族がその辛い出来事と向き合う過程において必要なものは何なのかということの研究し、今後のご家族の支援に役立てていきたいと考えています。

◇研究方法

<Webサイトにてアンケート>

<https://qooker.jp/Q/auto/ja/izokusien/izokusien/>

★こちらのアドレスをクリックしていただくとアンケート画面に移ります。ご協力の程、よろしくお願い致します。

◇研究対象者様

流産・死産・新生児死亡等によってお子さまを亡くされたことのあるご家族の方

◇研究協力者募集期間

平成26年9月10日まで

◇個人情報について

個人的な情報は厳守され、研究目的以外に使用することは一切ございません。皆さまにご回答頂きましたものは、個人情報の保護のために、ポコズママの会の協力のもと、SSL暗号化通信により、システム管理画面とアンケートフォームの通信は保護されています。また、OSから制御されている暗号化方式にてアンケートデータを暗号化していますので、データの保全には十分に配慮しております。

調査結果がまとまりましたら、専門学会等に発表させていただく可能性があります。その際個人的な情報は厳守され研究目的以外に使用することは一切ございません。結果はポコズママの会のHPを通じまして、みなさまにご報告させていただく所存でございます。臨床心理学・助産学それぞれの立場を生かして、みなさまからの声を、大切なお子さまを亡くされたご家族の支援に生かせるよう最大限の努力をしていきたいと思っております。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

◇倫理的配慮について

アンケートには匿名でお答えいただいております。またアンケートの回答票は厳重に管理し、当研究以外の目的で使用することはいたしません。

アンケートへの参加は、ご協力いただける方の自由意思に基づくものであり、いつでも中断することができます。回答をしないことで不利益を生じることはありません。

本研究にご参加いただくことで、お子さまを亡くされた当時の事を振り返って頂くことになるかと思えます。この振り返りは、その時の辛い感情までも呼び起こすことになるかもしれません。内容をご覧いただきまして、ご協力いただけるかどうか、十分にご検討をお願い致します。質問数は全部で87項目ですが、もし途中で辛くなったり、回答をすることにご負担がかかるようなら、すぐに中断していただいても構いません。回答には15-20分程度を想定しております。アンケートの参加を持って研究への同意とさせていただきます。よろしくようお願い申し上げます。

◇研究者・所属先

- ・ 研究担当者： 関西福祉科学大学大学院社会福祉研究学科心理臨床学専攻
修士課程2年 竹田陽子
- ・ 指導教員： 同教授 粟村昭子
- ・ 大学住所： 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号
- ・ E-mail： 21361009@fuksi-kagk-u.ac.jp